

ねらい

くり下がりのあるひき算を習得します。また、ひき算が使われる場面についての理解を深めます。

スタンダード

もくひょうじかん

15 ぶん

べんきょうした 日

月

日

とくてん

てん

① けいさんの しかたを かんがえて、□に あてはまる かずを かきましょう。 □1つ2 [12てん]

① 13-9の けいさん

$$13-9=10-\square+3$$

$$=\square+3$$

$$=\square$$

② 12-3の けいさん

$$12-3=12-2-\square$$

$$=10-\square$$

$$=\square$$

2 けいさんを しましょう。

1つ3 [42てん]

① 11-9

② 13-8

③ 15-8

④ 14-5

⑤ 11-7

⑥ 16-9

⑦ 18-9

⑧ 12-8

⑨ 16-8

⑩ 11-5

⑪ 13-6

⑫ 16-7

⑬ 14-8

⑭ 12-4

3 おなじ こたえの ^{かあと}カードを ^{せん}—で つなぎましょう。1つ4 [16てん]

①

$$13-7$$

②

$$14-9$$

③

$$11-4$$

④

$$17-9$$

⑤

$$13-5$$

⑥

$$14-7$$

⑦

$$11-6$$

⑧

$$12-6$$

4 ^{けえき}ケーキが 11こ あります。3こ たべると、のこりは なんこ
に なりますか。 しき4, こたえ3 [7てん]

(しき)

こたえ

5 どうぶつえんに、さるが 14ひき います。そのうち 6ひきは
おすです。めすの さるは なんびき いますか。 しき4, こたえ3 [7てん]
(しき)

こたえ

6 ^{くれよん}クレヨンが ^{ほん}5本, ^{いろえんぴつ}いろえんぴつが 12本 あります。かずの
ちがいは なん本ですか。 しき4, こたえ4 [8てん]
(しき)

こたえ

7 なわとびを しました。としきさんは 15かい, ゆきさんは
9かい とびました。どちらが なんかい おおく とびましたか。
しき4, こたえ4 [8てん]
(しき)

こたえ

1 2つの かずの ちがいを □に かきましょう。 1つ3 [9てん]

① $\begin{array}{cc} \boxed{12} & \boxed{7} \\ & \searrow \swarrow \\ & \boxed{} \end{array}$ ② $\begin{array}{cc} \boxed{8} & \boxed{11} \\ & \searrow \swarrow \\ & \boxed{} \end{array}$ ③ $\begin{array}{cc} \boxed{7} & \boxed{14} \\ & \searrow \swarrow \\ & \boxed{} \end{array}$

2 □に あてはまる かずを かきましょう。 1つ3 [24てん]

- ① $11 - \boxed{} = 9$ ② $12 - \boxed{} = 4$
 ③ $14 - \boxed{} = 8$ ④ $15 - \boxed{} = 6$
 ⑤ $\boxed{} - 8 = 5$ ⑥ $\boxed{} - 4 = 7$
 ⑦ $\boxed{} - 4 = 8$ ⑧ $\boxed{} - 9 = 9$

3 2まいの ^{かあと}カードの こたえが おなじに なるように, □に あてはまる かずを かきましょう。 1つ3 [18てん]

- ① $\boxed{12-9}$ と $\boxed{11-}$ ② $\boxed{11-6}$ と $\boxed{12-}$
 ③ $\boxed{13-6}$ と $\boxed{16-}$ ④ $\boxed{14-8}$ と $\boxed{-6}$
 ⑤ $\boxed{15-7}$ と $\boxed{-8}$ ⑥ $\boxed{13-4}$ と $\boxed{-8}$

4

けいさんを しましょう。

1つ3 [24てん]

① $11-3-6$

② $12-5-4$

③ $13-9-4$

④ $16-2-7$

⑤ $14-9+7$

⑥ $11-7+9$

⑦ $9+6-8$

⑧ $12+5-9$

5

ながい くぎは 1本^{ぼん} 13円^{えん}です。みじかい くぎは ながい
くぎより 7円 やすいです。みじかい くぎは なん円ですか。

しき4, こたえ3 [7てん]

(しき)

こたえ

6

がようしが 14まい あります。なんまいか くばったので、
のこりが 5まいに になりました。なんまい くばりましたか。

しき4, こたえ4 [8てん]

(しき)

こたえ

7

たまねぎが 6こ, じゃがいもが 15こ あります。どちらが
なんこ すくないですか。

しき5, こたえ5 [10てん]

(しき)

こたえ

大きい かず

ねらい

200未満の数について、その構成や順序、大小などへの理解を深めます。

スタンダード

もくひょうじかん

15 ぶん

べんきょうした 日

月

日

とくてん

てん

1 どんぐりは なんこ ありますか。

[5てん]



()

2 □に あてはまる かずを かきましよう。

1つ4 [24てん]

① 50と 2で

② 97は 90と

③ 46は □と 6

④ 10が 10こで

⑤ 10が 6こと 1が 8こで

⑥ 76は, 10が □こと 1が 6こ

3 ^{した}下の かずに ついて こたえましよう。

1つ4 [8てん]

65

45

94

73

54

40

① ^{じゅう}十のくらいが 4の かずを ぜんぶ かきましよう。

()

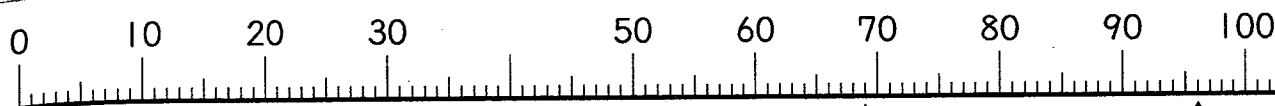
② ^{いち}一のくらいが 4の かずを ぜんぶ かきましよう。

()

4

□にあてはまる かずを かきましょう。

1つ4 [12てん]



あ

い

う

5

□にあてはまる かずを かきましょう。

1つ4 [12てん]

① 80より 3 ^{おお}大きい かずは
② 80より 3 ^{ちい}小さい かずは

③ 100より 2 小さい かずは

6

大きい ほうに ○を つけましょう。

1つ4 [24てん]

①

32	29
----	----

() ()

②

58	60
----	----

() ()

③

71	77
----	----

() ()

④

89	86
----	----

() ()

⑤

97	79
----	----

() ()

⑥

96	100
----	-----

() ()

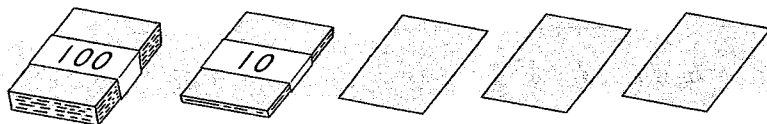
大きい
かず

7

かみは なんまい ありますか。

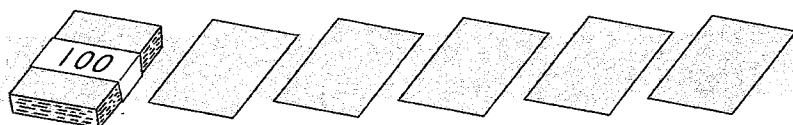
1つ5 [15てん]

①



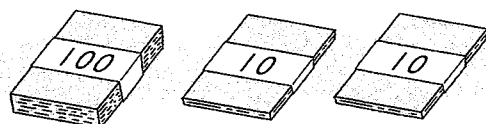
()

②



()

③

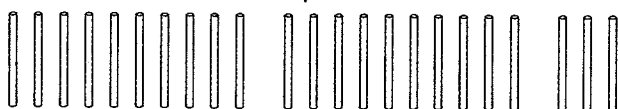
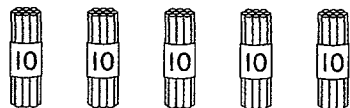


()

1 ぼうは なん^{ほん}本 ありますか。

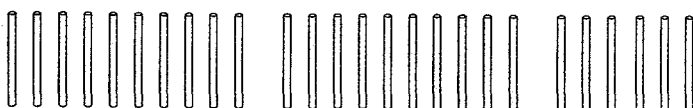
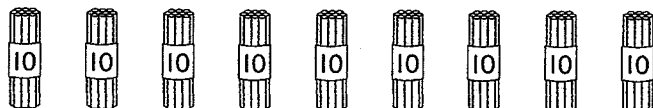
1つ4 [8てん]

①



()

②



()

2

大きい じゅんに、^{ひだり}左から ならべて かきましょう。1つ4 [12てん]

① (35, 24, 52, 48) → ()

② (74, 82, 69, 85) → ()

③ (108, 120, 119, 112) → ()

3

□に あてはまる かずを かきましょう。

1つ4 [24てん]

① 30と 40で

② 90は 30と

③ 100と 10と 3で

④ 100と 40と 6で

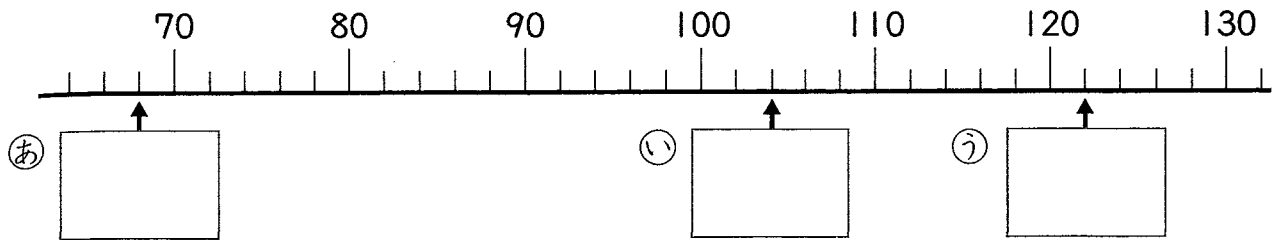
⑤ 10が 10こと 1が 19こで

⑥ 10が 11こと 1が 5こで

4

□に あてはまる かずを かきましょう。

1つ4 [12てん]



5

□に あてはまる かずを かきましょう。

1つ5 [25てん]

- ① 88より 10 ^{ちい}小さい かずは
- ② 94より 10 大きい かずは
- ③ 68より 7 大きい かずは
- ④ 72より 5 小さい かずは

- ⑤ 84と 100の ^{なか}ちょうど まん中の かずは

6

80から 130までの かずの 中で、^{いち}一のくらいが 6の かずを ぜんぶ かきましょう。

[5てん]

()

7

あめが 20こ ^{はい}入って いる はこが 3つと、あめが ばらで 14こ あります。あめは ぜんぶで なんこ ありますか。

[7てん]

()

8

120^{えん}円のおかしを、12円 やすく して もらいました。なん円 はらえば よいですか。

[7てん]

()

1 つぎの かずを 1 かいずつ つかって、こたえが 6 になる ひきざんの しきを 4 つ つくりましょう。 1 つ 4 [16 てん]

8 7 10 9 15 13 16 14

① $\square - \square = 6$ ② $\square - \square = 6$
③ $\square - \square = 6$ ④ $\square - \square = 6$

2 $\square$ に あてはまる かずを かきましょう。 1 つ 4 [24 てん]

① $\square - 6 = 5$ ② $12 - \square = 8$
③ $\square - 4 = 9$ ④ $14 - \square = 6$
⑤ $12 - \square = 5$ ⑥ $\square - 6 = 7$

3 こたえが いちばん 小さい しきを ○ で かこみましょう。 1 つ 4 [16 てん]

① $11 - 7$ $13 - 9 - 2$ $12 - 9$
② $18 - 4 - 7$ $14 - 6$ $11 - 2 - 3$
③ $15 - 6 - 4$ $19 - 7 - 5$ $11 - 8 + 3$
④ $17 - 9 - 2$ $11 - 9 + 2$ $7 + 7 - 9$

4 ^{した}下の ひきざんの しきで、には 1けたの すうじが かくれています。ひきざんの こたえが 4になる とき、1から 9のうち、にあてはまる かずを ぜんぶ かきましょう。 [6てん]

$$1 \text{  } - \square = 4 \quad (\quad)$$

5 クッキーを、あおいさんは 15こ、いもうとは 8こ もっています。^{ふたり}2人が おなじ かずずつ たべた とき、のこりの クッキーは どちらが なんこ おおいですか。 しき6, こたえ6 [12てん] (しき)

こたえ

6 子どもが 1れつに ^{にん}16人 ならんでいます。ゆうとさんは まえから 5ばんめです。かずやさんは ゆうとさんの つぎの ^{ひと}人から かぞえて 3ばんめです。かずやさんの うしろには なん人 ならんでいますか。 しき6, こたえ6 [12てん] (しき)

こたえ

7 ひなさんは ^{あか}赤と ^{あお}青の いろがみを もって います。赤い いろがみは 8まいで、青い いろがみは 赤い いろがみより 2まい すくないそうです。ひなさんは いろがみを なんまいか つかったの で、のこりが 5まいに なりました。なんまい つかいましたか。 しき7, こたえ7 [14てん] (しき)

こたえ

トツブレベル

もくひょうじかん
20 ぶん

べんきょうした 日
月 日

とくてん
てん

1

ただ 正しい ひきざんに なるように、□に あてはまる かずを □から えらんで かきましょう。 1つ5 [20てん]

- ① $\square - \square = 6$ ← 13 6 9 14 8
- ② $\square - \square = 8$ ← 5 12 3 13 6
- ③ $\square - \square = 9$ ← 14 4 13 17 6 7
- ④ $\square - \square = 7$ ← 4 13 5 11 15 7

2

□に あてはまる かずを かきましょう。 1つ5 [30てん]

- ① $14 - 6 - \square = 5$ ② $11 - 5 - \square = 4$
- ③ $13 - \square - 4 = 1$ ④ $\square - 7 - 2 = 6$
- ⑤ $12 - 8 + \square = 13$ ⑥ $9 + \square - 6 = 7$

3

した 下の しきて、おなじ ひらがなの ところには おなじ かずが はい 入ります。1から 9の うち、あ、い、うに あてはまる かずを かきましょう。 1つ5 [15てん]

$$12 - \text{あ} = \text{い}$$

$$17 - \text{い} = \text{う}$$

$$11 - \text{う} = \text{あ}$$

あ ()

い ()

う ()

4 15だん ある かいだんが あります。ゆきなさんは 下から 3だんめに います。えりかさんの いる ところの ^{うえ}上には あと 5だん あります。ゆきなさんと えりかさんの あいだには なんだん ありますか。

しき6, こたえ5 [11てん]

(しき)

こたえ

5 けずって いない えんぴつを, ひろとさんは ^{ほん}14本, おにいさんは 16本 もって います。ひろとさんは 5本 けずり, おにいさんは 3本 けずりました。その ^{ふたり}あと, 2人は おなじ かずずつ けずりました。いま, けずって いない えんぴつは, どちらが なん本 おおいですか。

しき6, こたえ6 [12てん]

(しき)

こたえ

6 ^{エレベーター}エレベーターに ^{にん}16人 のって いました。2かいで 9人 おりて 4人 のって きました。3かいで なん人か おりて 3人 のって きたので, 3かいに ついた ときより 2人 すくなく なりました。3かいで おりた ^{ひと}人は なん人ですか。

しき6, こたえ6 [12てん]

(しき)

こたえ

1 大きい かず

ハイレベル

もくひょうじかん
20 ぶん

べんきょうした 日
月 日

とくてん
てん

1 なん円^{えん} ありますか。

1 つ 5 [10てん]

①



()

②



()

2 つぎの かずの ■ には, 0 から 9 の すうじが かかれて

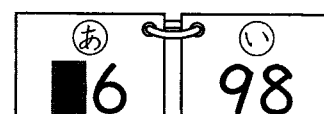
います。大きい^{おお} ほうを, ①, ② で こたえましょう。どちらが 大き
いか わからない ときは, × を かきましょう。 1 つ 5 [20てん]

①



()

②



()

③



()

④



()

3 □ に あてはまる かずを かきましょう。

1 つ 4 [16てん]

① 100 と 65 で

② 100 と 40 と 8 で

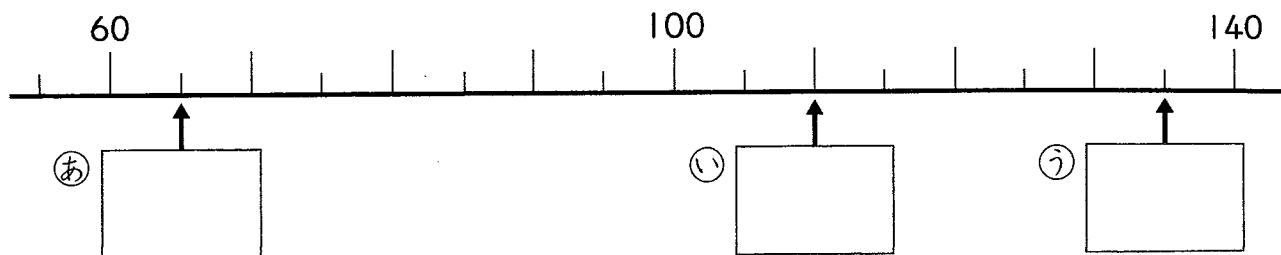
③ 10 が 10 こと 1 が 36 こで

④ 10 が 13 こと 1 が 4 こで

4

□に あてはまる かずを かきましょう。

1つ5 [15てん]



5

したの カードの 中から 2まい えらんで ならべ、なん^{じゅう}十^{じゅう}なに
の かずを つくります。つぎの かずを かきましょう。1つ5 [25てん]

4

9

8

2

3

① いちばん 大きい かず ()

② いちばん 小さい かず ()

③ 十のくらいが 9の かずの 中で、いちばん 小さい かず ()

④ 一のくらいが 8の かずの 中で、2ばんめに 大きい かず ()

⑤ 30に いちばん ちかい かず ()

大きい
かず

6

120この ジャがいもを、1はこに 10こずつ 入れます。ジャが
いもを ぜんぶ 入れるには、はこは なんこ あれば よいですか。

[7てん]

()

7

132円 あります。そのうち、10円^{だま}玉は 11こ、5円玉は 3こで、
のこりは 1円玉です。1円玉は なんこ ありますか。

[7てん]

()

トツブレベル

もくひょうじかん
20 ぶん

べんきょうした 日
月 日

とくてん
てん

1 つぎの □には、0から 9の すうじが はい 入ります。□に あて はまる すうじを ぜんぶ かきましょう。 1つ4 [8てん]

① 69は □7 より ちい 小さい かずです。

()

② 140は 1□5 より おお 大きい かずです。

()

2 □に あてはまる かずを かきましょう。 1つ4 [32てん]

① 100と □で 148 ② 10が □こで 160

③ 129は □と 9 ④ 108は 50と □

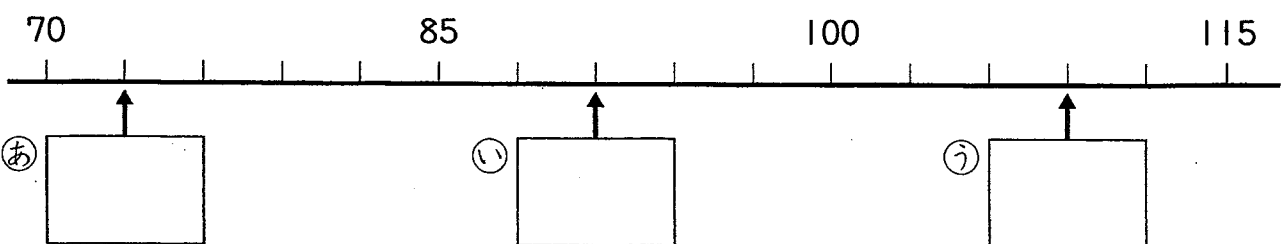
⑤ 100と □と 7で 157

⑥ 10が 12こと 1が □こで 126

⑦ 10が 11こと 1が □こで 135

⑧ 10が □こと 1が 15こで 175

3 □に あてはまる かずを かきましょう。 1つ5 [15てん]



4

下の^{した} カードの^{かあど} 中から^{なか} 2まい えらんで ならべ、なん^{じゅう}十なにの かずを つくります。つくれる かずに ついて こたえましょう。

1つ5 [30てん]

- ① いちばん 小さい かずは いくつですか。 ()
- ② 2ばんめに 大きい かずは いくつですか。 ()
- ③ 十のくらいが 5の かずの 中で、いちばん 小さい かずは いくつですか。 ()
- ④ 一の^{いち}くらいが 9の かずの 中で、2ばんめに 大きい かずは いくつですか。 ()
- ⑤ 80に いちばん ちかい かずは いくつですか。 ()
- ⑥ 50より 大きく, 70より 小さい かずは なんこ できますか。 ()

大きい かず

5

60本の^{ほん} きゅうりを, 1つの ふくろに 5本ずつ 入れます。きゅうりを ぜんぶ 入れると, きゅうりの^{はい} 入った ふくろは なんふくろ できますか。 [7てん]

()

6

ゆうかさんは, 5円玉と^{えんだま} 10円玉を あわせて, ぜんぶで 14こもって います。そのうち, 10円玉は 9こです。ゆうかさんは, なん円 もって いますか。 [8てん]

()

10 くり下がりの ある ひきざん

スタンダード

p.40_41

- ① ① (上から順に) 9, 1, 4
② (上から順に) 1, 1, 9
- ② ① 2 ② 5 ③ 7 ④ 9
⑤ 4 ⑥ 7 ⑦ 9 ⑧ 4
⑨ 8 ⑩ 6 ⑪ 7 ⑫ 9
⑬ 6 ⑭ 8
- ③ ①—⑧ ②—⑦
③—⑥ ④—⑤
- ④ $11-3=8$ 8 こ
⑤ $14-6=8$ 8 ひき
⑥ $12-5=7$ 7 本
⑦ $15-9=6$
としきさんが 6かい おおく とんだ。

解き方

- ① ① 13を10と3に分け、10から9をひいて計算する方法を式で表します。この計算方法が、くり下がりのあるひき算の基本です。
- ② 3を2と1に分け、12から順にひく方法を式で表します。ひく数が小さく、ひかれる数の一の位の数との差があまりない場合、このような計算方法もあります。
- ② ひき算はたし算より誤答が多くなります。完全にマスターするためには、より多くの練習が必要です。くり下がりのあるひき算は全部で36題あります。計算カードなどを使って、よくまちがえる計算をしぼり込みながら練習させるとよいでしょう。
- ⑤ 全部のサルの数からおすのサルの数を除けば、めすのサルの数が残ると考えて、ひき算の式に表します。
- ⑥ 式を「 $5-12$ 」とまちがえていないか、よく見てあげてください。また、「数のちがい」という表現についても慣れさせましょう。
- ⑦ 答えは、「どちらが」と「何回多い」の2つのことについて答えなければいけないことに注意させましょう。

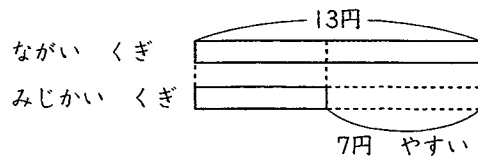
ハイレベル

p.42_43

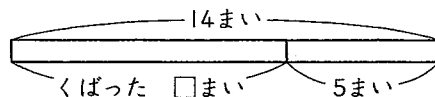
- ① ① 5 ② 3 ③ 7
② ① 2 ② 8 ③ 6 ④ 9
⑤ 13 ⑥ 11 ⑦ 12 ⑧ 18
③ ① 8 ② 7 ③ 9 ④ 12
⑤ 16 ⑥ 17
④ ① 2 ② 3 ③ 0 ④ 7
⑤ 12 ⑥ 13 ⑦ 7 ⑧ 8
⑤ $13-7=6$ 6円
⑥ $14-5=9$ 9まい
⑦ $15-6=9$

たまねぎが 9こ すくない。

- ① 数のちがいを求めるので、大きいほうの数から小さいほうの数をひきます。
- ② □に順に数を当てはめて、答えの数になる場合を見つけます。①～④では、ひく数はひかれる数の一の位の数より大きいと考えて、□に当てはまる数を選ぶとよいでしょう。
- ③ まず、左のカードの答えを近くに書かせましょう。そして、例えば①であれば、 $11-\square=3$ の□に当てはまる数を見つけます。
- ④ 左から順に計算していきます。⑤～⑧は、たし算も含まれているので注意させましょう。
- ⑤ 短いくぎは、「13円より7円安い」ということを、下のような図を利用して理解させましょう。



- ⑥ 下のような図に表し、配った数はひき算で求められることを理解させましょう。
- ⑦ 式を「 $6-15$ 」とまちがえていないか、答え方はきちんとできているかをよくチェックしてください。少ないほうと差を答えることに気をつけさせましょう。



11 大きい かず

スタンダード

p.44_45

- 1 95こ
- 2 ① 52 ② 7 ③ 40 ④ 100
⑤ 68 ⑥ 7
- 3 ① 45, 40 ② 94, 54
- 4 ㊦ 40 ㊩ 69 ㊪ 96
- 5 ① 83 ② 77 ③ 98
- 6 ① 32 ② 60 ③ 77
④ 89 ⑤ 97 ⑥ 100
- 7 ① 113まい ② 105まい ③ 120まい

1 10個ずつ〇で囲み、「10がいくつとばらがいくつで何十何」と考えさせましょう。

2 2けたの数の構成「何十と何」を意識させ、考えさせましょう。

3 「十の位」と「一の位」の用語の意味をしっかり理解させてください。

4 1目盛りは1を表すことを確かめさせてから、目盛りの表す数を読ませるようにしてください。数の線（数直線）の1目盛りは、いつも1を表すとは限らないことも話してあげるとよいでしょう。

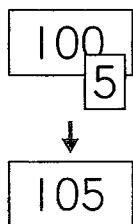
5 4 の数の線を見て考えさせましょう。たし算やひき算として考えられる場合は、もちろんそれでもかまいません。

6 数の大小比較では、次の2つの方法があります。

- ① 数直線上に数を表して比べる。
② 十の位、一の位の順に比べていく。

数に対する理解がある程度育っている場合は、②の方法が手軽でよいでしょう。

7 「100といくつ」という見方で、100より大きい数を扱います。数字で書くときは、右のように100といくつの数字を重ね、3つの数字を並べて表すことを、数字の読み方とともに確認しておきましょう。



ハイレベル

p.46_47

- 1 ① 73本 ② 116本
- 2 ① 52, 48, 35, 24
② 85, 82, 74, 69
③ 120, 119, 112, 108
- 3 ① 70 ② 60 ③ 113 ④ 146
⑤ 119 ⑥ 115
- 4 ㊦ 68 ㊩ 104 ㊪ 122
- 5 ① 78 ② 104 ③ 75
④ 67 ⑤ 92
- 6 86, 96, 106, 116, 126
- 7 74こ
- 8 108円

1 10の束がいくつできるか、ばら（端数）がいくつかを考えて求めます。

2 ③ 100より大きい数の大小も、大きい位から順に比べていけばわかります。

3 ① 10のまとまりの数で考えます。10のまとまりが、3個と4個で7個なので、70とわかります。

⑤ 100と19を合わせた数と考えます。

⑥ 110と5を合わせた数と考えます。

4 1目盛りは2を表していることに注意させましょう。㊦は、70より2小さい数なので68と考えます。

5 1目盛りが1を表す数直線を使って求めさせてください。計算によって求められる場合は、もちろんそれでもよいです。

6 一の位より上の位の数は、8, 9, 10, 11, 12と変わっていくことに気づかせてください。また、書き落としているものがないか、よくチェックしてください。

7 20個の3つ分は、20と20と20で60。60と14は、60と10と4で、70と4になるから、74と考えます。

8 120より12小さい数として求めます。ひき算で、20-12を計算し、100と合わせると考えてもよいです。

5	㊦	㊩
4	6	㊵
㊥	㊴	㊲

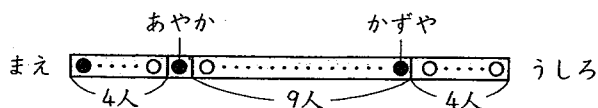
$5+4+㊥=㊩+6+㊥$ なので、 $5+4$ と $㊩+6$ の答えは同じ数になります。 $9=㊩+6$ なので、 $㊩$ は3とわかります。

5	㊦	3
4	6	㊵
㊥	㊴	㊲

同様に考えると、 $5+6$ と $3+㊵$ の答えは同じ数になるので、 $11=3+㊵$ で、 $㊵$ は8となり、3つの数の和は、 $4+6$

$+8=18$ になるとわかります。あとは、わかるところから順に求めていきます。

4 まず、全部の人数を求めます。



前からあやかさんまでの人数は、 $4+1=5$

全部の人数は、 $5+9+4=18$

18人を同じ数ずつ2列に並びかえるので、1列の人数は、18人の半分の9人となります。

5 「負けた」を「少ない」、「勝った」を「多い」と考えて、順に求めていきます。

1回めに白組の入った数は、 $8-2=6$

赤組の入った数の合計は、 $8+5=13$

白組の入った数の合計は、 $13+3=16$

2回めに白組の入った数は、 $16-6=10$

6 はじめに入っていた6個は、使わなくてもよい条件です。2人で何個入れたかを求めます。

けんとさんがはじめに入れた数は、 $4+1=5$

弟が入れた数の合計は、 $4+3=7$

けんとさんが入れた数の合計は、 $5+3=8$

2人で入れた数の合計は、 $7+8=15$

2人の合計を求める式は、「 $4+3+4+1+3=15$ 」としても正解です。

現場の先生から

●計算のしかた くり上がりのあるたし算でも、指を使って求めたり、数えたし（ $9+3$ では、9から10、11、12と求める方法）をしたりするお子さんがいます。なるべく早く、10を作って計算する方法へと移るように指導してください。

10 くり下がりの ある ひきざん

ハイレベル

p.120_121

1 ① $14-8$ ② $13-7$

③ $16-10$ ④ $15-9$

*①～④は順不同

2 ① 11 ② 4 ③ 13 ④ 8

⑤ 7 ⑥ 13

3 ① $13-9-2$ ② $11-2-3$

③ $15-6-4$ ④ $11-9+2$

4 6, 7, 8, 9 (順不同)

5 $15-8=7$

あおいさんが 7こ おおい。

6 $5+3=8$, $16-8=8$ 8人

7 $8-2=6$, $8+6=14$, $14-5=9$ 9まい

解き方

1 いちばん小さい数が7なので、ひかれる数は十いくつが入ると考えて見つけるとよいです。

3 答えがいちばん小さい式を選ぶことに気をつけさせましょう。それぞれの答えは、次のようです。

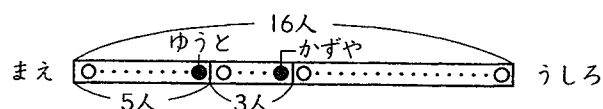
① 4, 2, 3 ② 7, 8, 6

③ 5, 7, 6 ④ 6, 4, 5

4 ひかれる数がいちばん小さい10のとき、ひく数は6なので、□に当てはまる数は、6以上の数と考えます。

5 2人の数が同じ数ずつ減っても、2人の数のちがいははじめのときと変わらないことを理解させてください。

6 全部の人数から、前からかずやさんまでの人数をひけば求められると考えます。



式は、「 $16-5-3=8$ 」でも正解です。

7 青い色紙の数は、 $8-2=6$

全部の色紙の数は、 $8+6=14$

使った色紙の数は、 $14-5=9$

- ① ① 14-8 ② 13-5
 ③ 13-4 ④ 11-4
- ② ① 3 ② 2 ③ 8 ④ 15
 ⑤ 9 ⑥ 4
- ③ ① 3 ② 9 ③ 8
- ④ $5+1=6$, $15-3-6=6$ 6 だん
- ⑤ $14-5=9$, $16-3=13$,
 $13-9=4$
 おにいさんが 4 本 おおい。
- ⑥ $3+2=5$ 5 人

解き方

① ひき算であることと答えの大きさから考えて、ひかれる数は十いくつであることがわかります。これをヒントにすれば、効率よく見つかります。

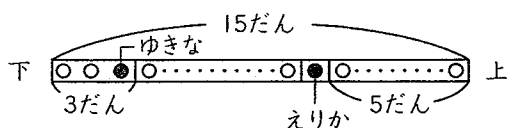
② 計算できるところを先に計算すると、わかりやすくなります。

① $\frac{14-6-□=5}{8} \rightarrow 8-□=5$

④ $□-7-2=6 \rightarrow □-9=6$
 $\rightarrow 7$ をひいてさらに 2 をひくことは、
 9 をひくことと同じと考えます。

③ 答えが 1 けたになることから、①は 8 か 9 と考えられます。すると、②は 3, 4 です。これらを当てはめて計算し、答えが合うほうを見つければよいわけです。

④ 全部の段数から、下からゆきなさんまでの段数と、上からえりかさんまでの段数をひけば求められます。



上からえりかさんまでの段数は、 $5+1=6$

2 人の間の段数は、 $15-3-6=6$

「 $15-3-6$ 」は、2 つの式に分けて書いてもよいですし、2 人の段数の和を先に求めて、「 $3+5+1=9$, $15-9=6$ 」としてもよいです。また、ゆきなさんの上にある段数を求めて、えり

かさんの段数をひくと考え、「 $15-3=12$, $5+1=6$, $12-6=6$ 」となります。

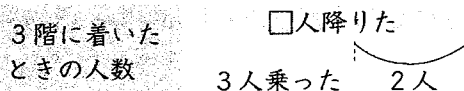
⑤ 鉛筆を 1 回めに 2 人が削ったあと、2 回めは 2 人は同じ数ずつ削っているの、削っていない鉛筆の数のちがいは、1 回めに削ったあとと同じと考えられます。これがこの問題のポイントになります。

1 回めに削ったあとの、削っていない鉛筆の数は、ひろとさんは、 $14-5=9$

おにいさんは、 $16-3=13$

したがって、おにいさんのほうが、 $13-9=4$ で、4 本多いと求められます。

⑥ 3 階で降りた人数は、3 階での人数の増減だけに着目して求められます。



降りた人のほうが乗った人より 2 人多いので、 $3+2=5$ で、5 人と求められます。

〈別解〉 次のように順に求めることもできます。

3 階に着いたときの人数は、 $16-9+4=11$

3 階を出発するときの人数は、 $11-2=9$

3 階に着いたとき、11 人乗っていて、何人か降りて 3 人乗ってきたので 9 人になったということになります。3 人乗ってくる前の人数は、 $9-3=6$ で、6 人なので、降りた人数は、 $11-6=5$ で、5 人と求められます。

現場の先生から

●計算のしかた $12-3$ のような場合、計算のしかたは 2 通り考えられます。

① 12 の 10 から 3 をひいて 7 。7 と残りの 2 で 9 。

② 3 は 2 と 1 。12 から 2 をひいて 10 。10 から 1 をひいて 9 。

① が基本的な計算のしかたですが、学校では②でもよいとされています。式に使われている数によって、どちらの方法がよい、自分で判断させましょう。迷ってしまう場合は、①だけで考えさせてもよいです。

11 大きい かず

ハイレベル

p.124_125

- ① ① 134円 ② 116円
 ② ① あ ② い ③ × ④ あ
 ③ ① 165 ② 148 ③ 136 ④ 134
 ④ あ 65 い 110 ⑦ 135
 ⑤ ① 98 ② 23 ③ 92 ④ 48
 ⑤ 29
 ⑥ 12こ
 ⑦ 7こ

解き方

- ① 10のまとまりを作り、「100と、10が何個、1が何個」と考えて、まずは読ませ、数字で書かせましょう。「円」を忘れずに書くように気をつけさせましょう。
- ② ① 一の位がいくつでも、十の位の大きいあのほうが大きい数と考えます。
- ② ■がいちばん大きい9でも、①のほうが大きいと考えます。
- ③ ■が5以下の場合は①のほうが大きく、6以上の場合はあのほうが大きいので、どちらが大きいかは決まりません。
- ④ ■がいちばん小さい0でも、あのほうが大きいと考えます。
- ③ ③ 100と36で、136です。
- ④ 130と4で、134です。
- ④ 数の線(数直線)の1目盛りは5になっています。
- ④ ④ 十の位に、8を除き、2番めに大きい4を置けば、2番めに大きい数になります。
- ⑤ 30に近い数は、小さくて29、大きくて32ですが、29のほうが30に近いと考えます。
- ⑥ 120は、10のまとまりが何個かと考えて求めます。
- ⑦ 10円玉が11個と5円玉が3個で、125円です。あと5円で130円、あと2円で132円なので、1円玉は5個と2個で7個と考えて求めます。

トッフレベル

p.126_127

- ① ① 7, 8, 9 ② 0, 1, 2, 3
 ② ① 48 ② 16 ③ 120 ④ 58
 ⑤ 50 ⑥ 6 ⑦ 25 ⑧ 16
 ③ あ 73 い 91 ⑦ 109
 ④ ① 25 ② 97 ③ 52 ④ 79
 ⑤ 79 ⑥ 10こ
 ⑤ 12ふくろ
 ⑥ 115円

解き方

- ① 0や9から順に数字を入れて考えてもよいですが、□が、①では6、②では4のときを考えて、論理的に求めさせるとよいです。
- ① □が6のとき、69のほうが大きいので、□には6より大きい数字が入ることになります。
- ② □が4のとき、140のほうが小さいので、□には4より小さい数字が入ることになります。
- ①, ②の数の並び方はちがっていても、全部書いてあれば正解です。
- ② ② 10が10個で100、11個で110、12個で120、…と、190まで確かめさせておくとよいです。
- ④ 108は100と8、100は50と50。50と8で58と考えさせるとよいです。
- ⑦ 10が11個で110。10があと2個で130。1があと5個で135だから、1は25個と考えさせましょう。
- ⑧ 175から10を1個取ると165。5を取ると160、160は10が16個と考えさせましょう。
- ③ 70から85までの5つの目盛りで、まず1目盛りが1だったら、2だったら、…と考え、1目盛りの大きさを求めます。この数直線の1目盛りは3になっています。
- ④ ① 小さい順に2枚並べた数になります。
- ② いちばん大きい数は、大きい順に2枚並べた98、2番めに大きい数は、一の位の8を次に大きい7に変えて、97と考えます。8は2枚ありますが、98という数はどちらの8を使っても、同じ数といえます。

- ③ 一の位に、5を除いていちばん小さい2を置きます。
- ④ 十の位に、9を除いて2番めに大きい7を置きます。
- ⑤ 80に近い数は、大きくて82、小さくて79ですが、79のほうが80に近いと考えます。
- ⑥ 十の位が5と6の数になると考えて、書き出して数えるとよいです。当てはまる数は、次の10個です。
- 52, 56, 57, 58, 59
62, 65, 67, 68, 69
- 5** 5のまとまりがいくつで60になるかと考えます。答えは、「12」や「12こ」などでもよいです。数が正しければ正解としてください。
- 6** 5円玉の数は、 $14 - 9 = 5$ で5個です。式は要求していませんが、ひき算を活用できることが理想です。10円玉が9個で90円、5円玉が5個で25円なので、全部で115円になります。

現場の先生から

①10のまとまりを作る 数が大きくなればなるほど、10のまとまりを作って数えることのよさがわかります。数の構成を考えるとときも同じです。この作業や学習を念入りに行うことによって、数を1つのかたまりとして見るのではなく、「10のまとまり(十の位)とばら(一の位)」つまり、2けたの数として見る意識が育ちます。

②位取りの理解 23を「203」、30を「310」と書いてしまう、23の2を「2の位」、3を「3の位」といつてしまう。これらは、位取りの理解が不十分なために起こるまちがいです。十の位、一の位を、それぞれ「部屋」として理解させるのも1つの方法です。この位取りの理解は、次学年で学習する大きな数においても重要になってきます。

なお、「百の位」は正式にはまだ学習しませんが、100のまとまりの数を書く部屋として教えてもよいでしょう。

12 かずの ならびかた

ハイレベル

p.128_129

- 1** ① 15 ② 10 ③ 4
- 2** ① 59 ② 51 ③ 78 ④ 80
- 3** ① 159, 199 ② 99, 97
③ 72, 75 ④ 70, 130
⑤ 40, 36
- 4** あ 45 い 85 う 77 え 67
お 145 か 140 き 97 く 102
- 5** ① 10 ② 60 ③ 16 ④ 20

解き方

1 2つの数のちがいは、いろいろな方法で求められますが、何十や百何十をもとにしたり、数列をもとにしたりして、次のように求めさせてみましょう。なお、数列を考えるときは、この2つの数のちがいが大切になってきます。

① 55はあと5で60。60はあと10で70だから、数のちがいは、5と10で15。

② 十の位が6と7で、一の位は同じだから、172は162より10大きい。

2 数直線を使ってもよいですが、なるべく頭の中でできるようにしてください。

① 61より1小さい数は60。60より1小さい数は59。

3 ①は10ずつ大きく、②は2ずつ小さく、③は3ずつ大きく、④は15ずつ大きく、⑤は4ずつ小さくなっています。わかっている2つの数のちがいを求めて、数の変化のしかたをとらえさせましょう。

4  は、いちばん左の列から5大きくなり、 は左から2番めの列から10小さくなるのがわかります。

5 ㊦と㊩の数の列の変化のしかたを考え、順に書き出してみればわかります。㊦は2ずつ大きい数の列、㊩は10ずつ小さい数の列です。

㊦	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20
㊩	110	100	90	80	70	60	50	40	30	20
				①		②		③		④